

グループワーク1 (ウォーミングアップ)

- 自己紹介 順番：1月生まれの人から

内容：①何月何日生まれ
②名前
③趣味、推し、マイブームなど
④仲間探し

- 司会者と発表者を決める

自分のグループ番号を覚えておいてくださいね！



1

グループワーク2 (事例発表の振り返り)

- 感想
- 事例発表を聞いて思い出した自分の保育エピソード
- 発表者への質問 など

2

乳幼児期の生活における 「対話」の基礎となる力（社会性）の育ち

子どもの発達支援Labo
菅野 ひろみ

茨城キリスト教大学非常勤講師
乳幼児健診心理相談員
日立市巡回支援専門員などやっています

3

結論！

「対話」の基礎となる力（社会性）の育ちを支えるのは、

よき聞き手であろうとする大人の姿勢（覚悟！）

4

「対話」とは？

- 複数の人が、対等性をもって、言語的・非言語的なやりとりをすること
- それぞれの共通点や相違点に気づいたり、お互いの考えの変化を体験したりする行為
- 聞き手と話し手の役割があり、役割は頻繁に入れ替わる

心の中で、自分と対話することを「内的対話」といいます。

5

乳幼児期は対話する？

6

「対話」の基礎（社会性）の基礎は基本的信頼感

基本的信頼感とは
 特定の大人との相互作用から得られる安心感をもとに、自己の安全を実感し、特定の大人を信頼すること

Check!
 大人の関わりとして大切なこと！
 応答的であること
 情緒的に温かいこと
 侵害的ではないこと

7

領域「人間関係」が目指すもの

〔他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。〕※1

個の育ち + 他者との育ち合い = 社会性

8

「対話」の基礎となる力とは？

- 言語、非言語で他者とのかかわる体験
- 思いや欲求を受容される（聞いてもらう）体験
- 安心感を持って他者と過ごす体験
- 他者との相互作用の喜びを感じる体験




9



大人の手助けを得ながら、

- 『お互いに思いを主張し、折り合いをつける体験』
(※1 人間関係-内容の取り扱い(5))
- 『友達のような考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる』
(※1 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(6)思考力の芽生え)



10

保育者と子どもは対等か？

保育者	子ども
養護する義務	養護さ る る義務 養護を受ける権利
教育する義務	教育さ る る義務 教育を受ける権利
知識やできることが多い	知識やできることが少ない
安心・安全・自由に生きる権利（人権）を持つ	

保育者と子どもは人として同じ権利を持っている。
それと同時に、子どもは『成長の過程にあつて保護や配慮が必要な子どもならではの権利』※2をもっている



11

「対話」の基礎（社会性）の育ちに必要な権利

- **子どもの最善の利益**
子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。
- **子どもの意見の尊重**
子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。



12

結論！

「対話」の基礎となる力（社会性）の育ちを支えるのは、

よき聞き手であらうとする大人の姿勢（覚悟！）



「覚悟」という言葉に込めた思い……



13

参考文献（おすすめ図書）

加藤繁美 『希望の保育実践論 I 保育の中の子どもの声』
ひとなる書房（2023）

きしもとたかひろ 『怒りたくて怒っているわけちゃうのになあ
子どもも大人もしんどくない子育て』
KADOKAWA（2022）

村中直人 『く叱る依存）がとまらない』紀伊國屋書店（2022）



14

参考文献

カルラ・リナルディ（著）里見実（訳）『レッジョ・エミリアと対話しながら-知の紡ぎ手
たちの町と学校-』ミネルヴァ書房（2019）

小嶋佳子 『「個」を含む概念としての社会性-内的適応と外的適応のバランス-』
愛知教育大学研究報告（教育科学編），67，愛知教育大学（2018）

平田オリザ 『わかりあえないことから-コミュニケーション能力とは何か』
講談社現代新書（2012）

引用文献

※1 文部科学省 幼稚園教育要領
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/index.htm

※2 unicef 子どもの権利条約の考え方 <https://www.unicef.or.jp/crc/principles/>



15

グループワーク3 （講演の振り返り）

- 感想
- 講演を聞いて思い出した自分の保育エピソード
- 助言者への質問 など



16